



機械保全
(機械系保全作業)

伊藤 稔さん
株式会社イージーエス

機械への挟まれや巻き込まれ、転倒、落下…。ものづくりの現場には危険も多い。そんな災害を防ぐため、力を入れているのが地元企業での安全教育。現場で起こりうる危険を疑似体験してもらうことで、危機意識の向上につなげている。

長年、機械保全の技術者として働き、現場経験は豊富。購入した教材は自分なりにアレンジを加え、よりよい教育となるよう手間を惜しまない。

毎年 1,500 人以上の修了者を輩出し、教え子の成長が何よりの楽しみ。「自分が教えた若い子たちが成長し、部下を抱えて一人前になった姿を見ると嬉しい」



次代へ紡ぐ匠の技

地場産業支える「新居浜ものづくりマイスター」

市のもものづくり産業を支える卓越した技能や技術を持った人を「新居浜ものづくりマイスター」として認定しています。ものづくりマイスターは、学校での体験学習の指導や各種講座などで講義を行い、地域の優れた技能・技術の継承と次世代のものづくり産業を担う人材育成のために尽力しています。

今回は、平成 30 年度に認定された 5 人のマイスターを紹介します。

令和元年度は 11 月 29 日(金)まで、ものづくりマイスター候補者の推薦を募集しています。応募要件や認定対象分野などは、新居浜ものづくりマイスターのホームページをご確認ください。

新居浜ものづくりマイスター HP (<http://niihama-meister.jp>)



今西 正光さん

公益財団法人
えひめ東予産業創造センター

機械保全
(機械系保全作業)

前職は、いわばプラント工場の「お医者さん」。ポンプやタービンなど大小さまざまな回転機を「診察」し、不具合が見つかれば、機能を回復させて元通りになるよう「治療」してきた。活躍の場は国内にとどまらず、グローバルに手腕を発揮。その経験と知識を生かし、現在はプラントメンテナンスの人材育成に情熱を燃やしている。

熱い指導と生徒の頑張りが実を結び、日本一の合格率を達成した試験も。「これからは若手育成に尽くしたい。地域に恩返しができる」。グローバルからローカルへ、舞台を移し、新たな一歩を踏み出している。



小賀野 祥司さん
四国電気工業株式会社

機械保全
(電気系保全作業)

工場の安定操業に向け、温度や圧力などの計測器を設置し、計測・制御・設備保全に当たる「計装」。一般的な電気工事に加え、計装の業務もこなせるエキスパートとして、大手化学工場の仕事を任されている。

電気と計装に関する作業を統括する一方、積極的に現場に立つ。できるだけ早い段階で、将来的にメンテナンスしやすくなるよう改善策を提案するためだ。

仕事への誇りは人一倍で、「うちの会社のレベルは全国的にも高く、どこに行っても通用する」と胸を張る。取得した資格の数は社内最多。どれだけ経験を重ねても努力は欠かさない。

農業機械整備
(農業機械整備作業)

高橋 秀実さん
新居浜市農業協同組合

トラクターや田植機といった農業機械の修理・整備に携わってきた。迅速・丁寧をモットーに、繁忙期には依頼が殺到する「農機具センター」を切り盛り。どんなに忙しくても手は抜かない。修理が完了して喜んでもらえたとき、信頼を得て、新たに農機を買ってもらえたときのうれしさは格別だ。

昨年度には、農家向けに「農機塾」を開始。実技を交え、農機の操作法や長持ちさせるコツなどを伝授している。初心者からベテランまで幅広くサポートしており、評判は上々。農家の所得向上とコスト低減を目指し、日々、知恵を絞っている。



徳永 等さん
有限会社松川工業

機械加工
(普通旋盤作業)

複数のローラーで鉄を薄く延ばし、板や棒状に成型する「圧延ロール」。半世紀以上にわたり、ローラー加工一筋に打ち込んできた。

熱膨張なども加味し、ローラーの寸法を決定。スイッチ一つで仕上がるNC(数値制御)旋盤と手作業が多い普通旋盤を使い分け、粗加工された素材を注文通りに削り上げていく。一般に流通する金属より硬く、削りにくい素材だけに、経験と技術が求められる作業だ。

「いつか技能検定1級を取る人材を輩出したい」と新人教育にも注力している。願うは後輩たちの飛躍。厳しくも温かい目で成長を見守る。